



白川郷荻町集落の自然環境を守る会 発行 令和2年 5月号

## センガ岩倉庫または共同車庫の新設について 「要望書」及び「回答書」

昨年の荻町区大寄合にて同意いただきました見出しの要望書を、2月に村当局に提出。それに対する回答書を3月にいただきました。回答書を受け取る際の村当局との懇談については、ねそ4月号に掲載しましたので、5月号に「要望書」及び「回答書」を転載いたします。倉庫の新設に直結する回答とはなりませんでしたが、これからの荻町を考えるよい機会をいただいたと前向きに受け止めています。守る会では、景観を考える共同車庫のあり方を、空き家や後継者問題と連動させ、取り組みを進めたいと考えていますので、住民の皆様のご協力をよろしくお願い申し上げます。【文責：和田】

令和2年 2月 吉日

白川村村長 成原 茂 様  
白川村教育長 宮丸 和之 様

白川村荻町区長 野村 昭吾 様  
同 守る会会長 和田 正人 様

### センガ岩倉庫または共同車庫の新設について（要望書）

村当局におかれましては、日頃より荻町区民の安全な生活と景観保全に格別のご高配を賜り、厚くお礼申し上げます。

近年の荻町交通対策問題では、白川郷バスターミナルの整備や、電光掲示板の設置、通年のガードマンの配置等、多大なるご支援を賜りまして本当に感謝しています。

さて、村が所有するセンガ岩倉庫につきましては、平成20年よりその一部を守る会の管理のもと、荻町住民にご提供をいただいています。荻町区では、世界遺産及び伝建地区としての景観を維持するため、新たな建造物を増やすことを原則禁止しています。その一方、個人が所有する農業機械や除雪機械等の著しい増加に対し、それらを格納する新たな倉庫が建てられないため、機材が野外放置されることによる景観の悪化を危惧していました。そこで、村よりセンガ岩倉庫をご提供いただけたことは、荻町区が建造物の増加抑制や農山村の景観保全に努力していることに、村をあげてご理解ご支援くださっていることの証であり、精神的にも景観維持の大きな支えとなっています。

しかし、倉庫の老朽化が進み、盗難や倒壊への心配の声も住民から上がるようになり、2年前の大寄合での意見を受け、改修のお願いをしてみました。その際に、センガ岩倉庫が無償譲渡によるもので、今後の改修予定がないことも理解いたしました。集落内に個人の建物が新設できない以上、安心して収納できる倉庫が必要であるとの住民の想いは募るばかりです。そこで12月15日荻町区大寄合での参加者全員の賛成をもって、下記の要望をさせていただくこととなりました。

単独村の道を歩む白川村にとって、世界遺産白川郷の景観保全は必至であり、その重責は村民の理解と協力を得ながら、荻町区民が世界遺産の住民としての誇りと自覚をもち、真摯に取り組まなければならないと考えています。厳しい情勢のなかではありますが、今後とも力強いご支援をいただきますようお願い申し上げます。

#### 記

1. センガ岩倉庫の老朽化にともない、住民が安心して収納できるセンガ岩倉庫または共同車庫の建設をお願いしたい。当倉庫が世界遺産白川郷の景観を守るための農業維持や建物新築抑制の大きな力となっていることをご理解いただき、ご支援いただきたい。

※なお、現状の利用台数は30台前後。使用者からは、守る会作成使用規定に基づき使用料を徴収。そのお金は合掌保存基金へプール。平成28年以降はセンガ岩通帳に積み立ててあり一切流用していないことを申し添えます（使用規定、令和元年度中間会計報告添付）。

令和2年 3月 吉日

白川村荻町区長 野村 昭吾 様  
守る会会長 和田 正人 様

白川村村長 成原 茂  
白川村教育長 宮丸 和之

## 「センガ岩倉庫または共同車庫の新設について（要望書）」に対する回答書

日ごろは当村文化財保護行政にご理解ご協力いただき誠にありがとうございます。

さて、先般令和2年2月吉日付け「センガ岩倉庫または共同倉庫の新設について（要望書）」につきまして地域要望として確かに受理いたしました。村当局としましても世界遺産地区内の景観対策としての共同車庫については「伝統的建造物群保存計画」及び「世界遺産マスタープラン」に位置付けられている重要施策と考えています。故にセンガ岩倉庫につきましては平成20年の村への譲渡後、地区要望により農業機械や除雪機械等重機類の格納スペースとして全5ブースのうち3ブースを使用に関わるあらゆる損失については使用者の自己責任を了承のうえ貸し出しさせていただいているところです。よって本施設を今まで通りのかたちで使い続けていただくことにつきましてはこれまでの方針に変更ありません。

しかしながら、村としてはご要望頂いた新たな共同車庫のあり方については、地区外整備だけでなく多面的な検討が必要であると考えています。特に、世界遺産地区内の景観問題については、農業機械や除雪機械の他に「乗用車」の野外駐車も大きな課題です。この他にも、地区内の空き家問題も今後深刻化していくと考えられます。これらの景観問題を包括的に解決するべく、下記取り組みを村とともに実施いただきながら地域における共同車庫のあり方の再考及び空き家問題の解消にお取り組みいただきますようお願い申し上げます。今回の共同車庫の課題解決取り組みを契機に世界遺産地区内の大切な地域コミュニティーの継承のための大きな原動力となることを期待し重ねてよろしくお願い申し上げます。

### 記

1. 共同車庫については利用者目線で考えると近隣にあることが望ましいと考えることから、保存地区内の既存建築物のうち車庫に活用できそうな空き建物を把握して共同車庫としての活用を所有者と協議を進める。
2. 保存地区内の世帯状況や後継者の有無を地域として把握し、今後空き建物となりそうな物件について地域情報として共有を進める。
3. 共同車庫の地区外整備については伝統的建造物群保存計画及び世界遺産マスタープランに準じ、上記2点の取り組み状況を鑑みながら村と共に地区外整備の方針協議を進める。

以上

## 守る会活動スローガン ～ 守る・くらす・つなぐ～

- ①守る：住民憲章を基盤とした、世界遺産である合掌家屋と農山村の景観保全
- ②くらす：結の精神が根ざした共同体と、景観に調和した豊かな住民生活の向上
- ③つなぐ：故郷から学び、国内外の交流から学び、未来への継承者を育成

## ＝ 4月の活動報告 ＝

- |                            |                                |
|----------------------------|--------------------------------|
| 4月2日 拡大役員会                 | 4月10日 三役 ZOOM オンライン会議          |
| 4月8日 4月定例会中止（コロナ感染症予防のため）  | 4月16日 旧寺口家棟包み作業（合掌環境部長他有志）     |
| 4月9日 荻町交通対策委員会中止（コロナ予防のため） | 4月17日 かややね会議（ZOOMにて）（会長・福田・松本） |
| 4月9日 旧寺口家雪囲い外し（合掌環境部長他有志）  | 4月29日 村一斉美化運動中止（コロナ感染症予防のため）   |
- ※6月の定例会は10日(水)を予定しています。

## ☆ 5月の協議事項（現状変更申請に関わって） ☆

- |                |                       |               |
|----------------|-----------------------|---------------|
| ***** 舗装工事     | ***** 店舗の看板移動及び間口拡張   | ***** 車庫解体・増築 |
| ***** 本屋北側に窓増設 | ***** 犬走土間ガンコマサ施工・網張り |               |
| ***** 腰壁張替え    | ***** トタン屋根塗替え塗装      |               |

※新型コロナウイルス感染症予防のため、4月定例会は中止。5月定例会はZOOMオンライン会議となりました。5月定例会後に、おそ4月号・5月号を発行配付いたします。